

2021 年 2 月

東北大学環境報告書 2020 に対する評価

本報告書は、環境にかかわる東北大学の多岐にわたる活動内容について、体系的かつ網羅的にまとめられた報告書であり、2020 年版は 2019 年版に対する本評価委員会の意見内容をすべて反映したものとなっている。データが適切に開示されて評価がなされており、事業所の報告義務を十分に果たしている。全体的には前年度よりもさらに報告書の質が向上したというような印象を受けた。特に、各ページの図表の配色や構成がよく工夫されており、一目で目標の達成状況や各項目の現状が分かるようになっている。また、各論では、一人当たりの使用量等についても記載されていることで、教職員、事務職員、学生等の多様な主体により構成される大学において、各主体が意識して環境活動に取り組めるよう工夫がなされている。

最後に、より精緻なデータの入手・評価を行い、本報告書をまとめられた環境報告書作成専門部会（2020 年度）のご努力に深く敬意を表する。今後、本報告書がさらに充実し、東北大学の環境マネジメントにさらに有効に活用されることを期待し、本委員会で出された主な意見を以下に列挙するので、参考にしていただければ幸いである。

- 1) 報告書内の各内容を位置付けるような整理があると、この報告書の全体の構成や各ページの対応関係が分かりやすくなる。例えば、P.6-7 にある整理や図などに対応しているページを記載することで、対応関係が理解しやすく、読者が読みやすい報告書となる。
- 2) 図 I-3 「2018 年度及び 2019 年度の達成度比較」において 2018 年度と 2019 年度の達成状況をレーダーチャートで比較しているのは、分かりやすく表現出来ているため、他の箇所でもレーダーチャート等を活用した試みができないか検討してみてはどうか。
- 3) SDGs（持続可能な開発目標）への取組みを積極的に紹介することで、より多くの皆様に関心を持っていただける報告書となる。

東北大学環境報告書評価委員会

	所 属	職 名	氏 名
委員長	工学研究科	教 授	魚 住 信 之
委 員	環境科学研究科	教 授	中 谷 友 樹
委 員	生命科学研究科	准教授	藤 井 伸 治
委 員	加齢医学研究所	准教授	野 内 類
委 員	文学研究科	教 授	木 村 邦 博
委 員	理学研究科	准教授	本 堂 毅
委 員	農学研究科	准教授	井 元 智 子
委 員	宮城県環境生活部 環境政策課	課 長	稲 村 伸
委 員	東北電力株式会社 グループ戦略部門環境ユニット	マネージャー	吉 田 泰 隆